

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
科学的根拠に基づくがん情報の提供及び均てん化に向けた体制整備に資する研究（23EA1026）  
（分担研究報告書）

宮崎県内および自施設における取り組みから

研究分担者 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター 鈴木斎王（特別教授）

研究要旨

宮崎県では本年度、ピアサポーター養成講座の開催およびがんサロンにおける勉強会、県立図書館での若尾文彦先生の講演会、県庁ホールにおける勝俣範之先生の講演、演劇部による小演劇を行った。これらは正確な情報取得の方法を患者にもわかりやすく伝えることを主題として取り組んだ。

A. 研究目的

がん診断時等の患者にがん診療施設（がん非拠点病院を含む）で適切に情報提供する方策の検討  
宮崎県での情報提供・啓発活動の取り組み

B. 研究方法

当院および宮崎県がん対策協議会情報提供相談支援部会として、令和6年度に取り組んだ情報提供、啓発活動について報告する。

（倫理面への配慮）

特になし

C. 研究結果

1. 宮崎県ではがんサロンの開催は進んできているが、ピアサポーターの不足が問題となっていた。がん患者会と協同して、講義とグループディスカッションを組み合わせた5回のテーマ別の講座を1コースとして開催し、約40名の参加があった。そのうち、19名が終了した。

2. 県立図書館での講演会では若尾先生の「確かながん情報の探し方」と題して講演をいただいた。

3. 県庁ホールでの講演会は勝俣先生の講演の後に、宮崎大学演劇部の協力により、医療者と患者のコミュニケーションエラーが生じる場面の寸劇についてディスカッションを行った。

D. 考察

本年度はより患者にわかりやすく情報を取得するための手段・方法を伝えることをテーマにした。それぞれの研究において、受講者、聴講者のアン

ケートからほぼすべての方から、良好な結果を得ており、講師の先生方の分かりやすい講演と寸劇を用いることで、目的を達成できたと考える。

E. 結論

患者の目線で講演、講義をすることで、より情報を正確に伝えることができ、ピアサポーターの養成にもつながった。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

1. 論文発表  
なし

2. 学会発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他